

## 国家試験委員会活動計画書

委員長名 播本雅津子

<b>【委員会名】</b> 国家試験委員会	
<b>【メンバー】</b> 宇田優子(新潟医療福祉大学看護学部) ¥大谷喜美江(四日市看護医療大学看護医療学部) ○大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 齋藤公彦(福山平成大学看護学部) 関美雪(埼玉県立大学保健医療福祉学部) ◎播本雅津子(名寄市立大学保健福祉学部) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名	
<b>【活動方針】</b> 1. 毎年の保健師国家試験出題内容に関する意見をとりまとめ、厚生労働省に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準の点検・評価を行う。 3. 国家試験問題作成のための研修会などにより、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップする力を育成する。	
<b>2022(令和4)年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. Web調査による第109回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。 2. 養成校別保健師国家試験合格率の推移、問題内容調査結果の分析経過など、国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。 3. 厚生労働省Web問題登録への会員校からの問題/情報の登録を推進する。 4. ブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応する等、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。
	1. 第109回保健師国家試験の出題内容について、会員校に対する全国調査を行い厚生労働省に結果を示す(2月)。 調査の際は、複数校による検討を推奨し、教員の力量向上と信頼性を確保する。 2. 保健師国家試験合格状況を分析し、保健師の教育や養成などを検討する基礎資料を作成する。「保健師国家試験出題基準の見直し」のテーマで会員による検討を行い、厚生労働省に意見書を提出する。 3. ブロックからの作問研修など講師要請に応じ講師を派遣する。(オンラインでも対応可) 4. <b>【活動の概要】</b> <input type="checkbox"/> 第1回委員会(6月) 活動計画の実現に向けた具体的実施計画の作成  <input type="checkbox"/> 第2回委員会(8~10月頃) Web登録問題の作成、登録 <input type="checkbox"/> 第108回保健師国家試験内容調査および環境調査依頼(1月) <input type="checkbox"/> 第3回委員会(2月) ①第109回保健師国家試験に係る内容・環境調査結果分析・厚生労働省への意見書作成 ②第109回国家試験問題内容調査分析過程での議論を踏まえた啓発資料の作成 ③第109回保健師国家試験環境調査の実施・分析および厚生労働省への提言
<b>活動計画</b>	